

令和3年度 学校目標（定時制）

	視点	4年間の目標	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①基礎基本を踏まえて発展的に学ぶことができる教科指導を充実させ、「学び直しとしての学力」「上級学校において役立つ学力」「社会の中で自ら生きていくために必要な学力」を定着させる。 ②「学びの場」としての定時制総合学科の意義を自覚させ、一人ひとりの生徒が主体的に参加する授業を展開する。	①単位制総合学科の特性を生かし、生徒の多様なニーズに応える教育課程を確立させるとともに、よりよい学習環境を整える。 ②基礎学力を定着させ、規範意識の育成と学習習慣を確立させることで、出席率の向上と積極的な授業参加を支援する。	①新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の確立を図る。グループ間で連携し、授業規律を徹底させる。 ②「主体的・対話的で深い学び」を目標とした研究授業等を実施し、生徒の多様な特性やインクルーシブ教育の視点を取り入れた学習指導の充実等、組織的な授業改善を継続する。プログレスHRを始業前授業へと発展的に継承し、基礎学力の定着と学習習慣を確立する。	①授業規律を徹底し、よりよい学習環境を整備することができたか。 ②生徒が「主体的、対話的で深い学び」を実感することができたか。生徒の言語活動を充実させたか。出席率の向上と積極的な授業参加を促進することができたか。基礎学力を定着させ、学習習慣を確立させることができたか。
2	生徒指導 ・支援	①一人ひとりの生徒理解を基本とし、生徒指導や教育相談体制を充実させ、より安心して学べる場となる学校をつくる。 ②教育活動全般に道徳教育を推進し、道徳的心情と道徳的判断力を育む。	①安心・安全な学習環境の整備と維持をするとともに、教育相談体制の充実、関係機関との連携強化、職員間の情報共有を充実させ、生徒の学校生活を支援する。 ①生徒の健康観察を行い、新型コロナウイルス感染予防対策を推進する。 ②各行事の活動において、状況に応じた行動や判断ができる態度を育成し、キャリア教育・道徳教育の視点を踏まえた指導体制を構築する。	①校内巡回の状況をデータ化したものから、活用・対応できる仕組みを整備する。 様々な課題を抱える生徒に寄り添うための情報共有を図り、教育相談体制の強化・維持に努める。 ①毎日の検温と健康状態を指定のシートに入力・送信させる。 ②各行事の活動においてルールや規範意識の育成のため、年次団、各グループと連携を強化し、キャリア教育・道徳教育の視点で指導を行う。	①巡回情報をデータ化し、全職員が情報共有・活用する体制ができたか。特別指導の件数を減らすことができたか。教育相談体制の強化に伴い、いじめが疑われる相談件数を減らすことができたか。 ①健康観察入力人数の統計とデータによる健康指導ができたか。 ②学校のルールや交通ルールなどを守るなど規範意識を育成し、命の大切さを伝えることができたか。 年次団、各グループと連携し、キャリア教育・道徳教育の視点で指導できたか。
3	進路指導 ・支援	キャリア教育の一環として、道徳教育との関連性をもって、すべての教育活動において、生徒一人ひとりが社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育てる。	生徒一人ひとりの職業観の育成に取り組み、希望する進路実現のために必要な支援を行うことで、自己実現した生徒数を増やす。	多様な生徒の状況に応じたきめ細かい指導を実現するために、進路カルテやキャリアパスポートを活用し、年次団とグループが密接に連携する。 生徒一人ひとりが自分の個性や適性を理解する機会を増やすため、進路ガイダンスや上級学校出前授業、面談等を充実させる。	進路カルテ、キャリアパスポートを活用し、きめ細かい指導を実現できたか。 進路ガイダンス等と面談が充実したか。自分の個性や適性を理解する機会を増やすことができたか。 卒業時の進路決定率が昨年度の65%を超え70%以上であったか。
4	地域等との 協働	周辺自治会および関連行政機関との連携を一層充実させ、教育力を向上させる。	周辺自治会および関連行政機関との連携を強化し、開かれた学校づくりを推進する。	周辺自治会等と連携し、各行事で学校広報活動の推進を図るとともに、学校説明会、ホームページ等の充実を図る。	周辺自治会や外部機関との連携を図り、学校周辺の環境整備事業やその他の活動で3回以上連携できたか。
5	学校管理 学校運営	①学校防災力を向上させ、自らのいのちを守る防災教育を実践する。 ②不祥事防止を徹底し、教職員の不祥事防止に取り組む姿勢を一層向上させる。 ③教員のライフワークバランスを推進するため教員の働き方改革を推進する。	①安心・安全で信頼される学校づくりを推進する。 ②生徒、保護者と教職員の信頼関係の強化と情報の共有化を図る。 ③長時間勤務を是正する。	①防犯・防災体制の構築、防災教育を徹底し、学校防災力の向上を図る。 ②関係グループと連携し、まちコミメール等で情報を発信しICTを活用した情報集約を図る。 ③「ノー残業デー」を実施するとともに、ICTを活用して会議時間を短縮する。	①防災学習会や夜間防災訓練を実施し、周辺地域の防災拠点と防災対策について連携を強化できたか。 ②保護者への情報発信および受信体制が昨年度以上に整備できたか。 ③月2回以上「ノー残業デー」を実施できたか。会議時間を45分以内に短縮することができたか。